

制服の方向性について

論 点

「新たなデザインとする」、「統合対象校のデザインを引き継ぐ」、「制服を制定しない(私服対応)」など、どのような方向性が望ましいかという視点で協議する。

【統合対象校の制服】

大湊高校	むつ工業高校
■冬服（儀式的行事） 	■冬服 
■冬服 	
■夏服 	■夏服 

【新制服とした場合のスケジュール等について】（業者聞取りに基づく事務局案）

（１）制服製造メーカーの状況

コロナ禍における製造工場の稼働率の低下や、全国的に急増する制服のモデルチェンジへの対応等を背景に、原材料及び関連品の調達並びに縫製の工程に、これまで以上に期間を要する状況であり、新しい制服を統合校の開校（令和９年４月）に間に合うように作成するためには、令和７年１２月までに生地やデザイン等を決定する必要がある。（ネクタイやリボン、体育着は令和８年度の夏頃まで対応可能。）

（２）スケジュール見込みと必要な対応案

年 月	新制服に係る対応
令和７年５月	第１回統合校開設準備委員会（制服の方向性検討）
	業者選定案内（企画書や商品の提案を依頼）
６月	業者選定選考会
７月	業者決定
	第２回統合校開設準備委員会（進捗報告）
８月	生地・デザイン等の検討 ○検討・意見参考：統合対象校の教職員・在籍生／中学生 等 ○検討範囲：ネクタイ・リボンを含むかどうか ○デザイン：公募（対象・期間、選定方法）／依頼（依頼先・期間）等
１０月	第３回統合校開設準備委員会
１２月	第４回統合校開設準備委員会
	生地・デザイン等の最終決定
令和８年４月	統合校開設準備室設置・新制服契約
８月	ネクタイ・リボン等の決定期限
令和９年３月	新制服販売
４月	統合校開校